



TITLE:

表紙・投稿規定・プレプリント・  
編集後記・目次・裏表紙ほか

AUTHOR(S):

---

CITATION:

表紙・投稿規定・プレプリント・編集後記・目次・裏表紙ほか. 物性  
研究 1973, 20(1): 33-38

ISSUE DATE:

1973-04-20

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/88612>

RIGHT:

昭和42年11月14日 第四種郵便物認可  
昭和48年4月20日発行(毎月1回20日発行)  
物 性 研 究 第20巻 第1号

vol. 20 no. 1

# 物性研究

1973|4



1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

## 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、o と a と 0 (ゼロ)、u と n と r、c と e、1 (エル) と 1 (イチ)、x と × (カケル)、u と v 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷は原則として作りません。どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、現金で納入していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

1. 本誌は、物性物理の研究を共同で促進するため、研究者がその研究意見を自由に発表し討論しあい、また、研究に関連した情報を速やかに交換しあうことを目的として、毎月1回編集・刊行されます。掲載内容は、研究論文、研究会・国際会議などの報告、講義ノート、研究に関連した諸問題についての意見、プレプリント案内、ニュースなどです。
2. 本誌に掲載される論文については、原則として審査は行いません。但し、編集者が本誌に掲載することを著しく不適当と認めたものについては、改訂を求め、または掲載を拒絶することがあります。
3. 本誌の掲載論文を他の学術雑誌に引用するときは、著者の承諾を得た上で private communication 扱いにして下さい。

## 投稿規定

1. 雑誌のページ数を節約するために原稿は極力簡潔にお書き下さい。
2. 原稿は400字詰原稿用紙を使用して下さい。
3. 数式、記号の書き方は Progress, Journal の投稿規定に準じ、ミスプリントが生じないように適当な処置をとって下さい。上ツキ、下ツキは特に紛わしいもののみを指定して下さい。英字の大、花文字、ギリシャの指定を忘れないように、o と a と 0 (ゼロ)、u と n と r、c と e、1 (エル) と 1 (イチ)、x と × (カケル)、u と v 等が一番間違いやすい。
4. 数式は3行にわたって大きく書いて下さい。
5. 1行以内におさまらない可能性のある長い数式等は必ず改行の際の切れ目を赤で指定して下さい。
6. 図の縮尺、拡大は致しません。1頁以内に入らない図は原則として著者に返送し、書き改めていただきます。
7. 投稿後の原稿の訂正はできるだけさけるようにして下さい。
8. 別刷は原則として作りません。どうしても別刷が入用な場合は、投稿の際に所要部数を50部単位で申込んで下さい。別刷代は下記方式により、現金で納入していただきます。

(郵券による受付はいたしません。)

p : 物研出来上り頁数

x : 別刷所要部数

a : 別刷1頁の代金 3円

b : 製本代(別刷1部につき) 30円

別刷代 = (ap + b) x + 送料

別刷代金は別刷を受取ってから、1ヶ月以内に納めて下さい。それより遅れた場合には遅滞追徴金を請求されることがありますから、御注意下さい。

9. 原稿締切日は毎月20日で原則として次月発行誌に掲載されます。

## プレプリント案内

[東大理・久保研]

(28) 17. Toshiaki Kakitani

Theoretical Study of Optical Absorption Curves of  
Molecules. II

-Effect of the Vibrational Mode - Mode Interaction in the  
Excited State -

(29) 28. Hiroshi UEYAMA

Notices on the Langevin Equation Method

(30) 28. Hiroyuki Shiba

A HARTREE - FOCK THEORY OF TRANSITION - METAL  
IMPURITIES IN A SUPERCONDUCTOR

(31) 28. D.L.Huber

A NOTE ON THE ELECTRICAL CONDUCTIVITY OF THE  
HUBBARD MODEL IN ONE DIMENSION

(32) 28. Fumiko YONEZAWA and Mitsuo WATABE

Electron Correlations and Metal-Nonmetal Transition in a  
Disordered Binary System

(33) 28. Fumiko YONEZAWA and Mitsuo WATABE

HUBBARD MODEL FOR DISORDERED SYSTEMS

(34) 28. Mitsuo WATABE, Teiji KOBAYASHI and Fumiko YONEZAWA

The Mott Hypotheses and Critical Densities in Supercritical  
Alkali Fluids

(35) 28. L.B. Coleman, M.J. Cohen, D.J. Sandman, F.G. Yamagishi,  
A.F. Garito and A.J. Heeger

Superconducting Fluctuations and the Peierls Instability  
in an Organic Solid

- (36) 1. Ryoichi Kikuchi  
PHASE TRANSITION WITHIN A PHASE BOUNDARY. II.
- (37) 1. Michel E. Fisher  
CLASSICAL,  $n$ -COMPONENT SPIN SYSTEMS OR FIELDS  
WITH NEGATIVE EVEN INTEGRAL  $n$
- (38) 1. Micheel E. Fisher and Amnon Aharony  
DIPOLAR INTERACTIONS AT FERROMAGNETIC CRITICAL  
POINTS
- (39) 1. R. ABE And S. HIKAMI  
SOME REMARKS ON THE POWER LAW IN  $1/n$  EXPANSION
- (40) 1. Charlotte Huang and Alexander Rosa  
ON THE EXISTENCE OF BALANCED BIPARTITE DESIGNS
- (41) 5. Masuo Suzuki  
On the Expansion Theory of Critical Exponents- General  
Aspects and Some Applications -
- (42) 5. P.G.de Gennes  
SOME REMARKS ON THE POLYMORPHISM OF SMECTICS
- (43) 5. V.J. Minkiewicz, T.A. Kitchens, G. Shirane and E.B.Osgood  
The Lattice Excitations of the  $\text{He}^4$  Quantum Solids
- (44) 5. J.D.Axe and G. Shirane  
Inelastic Neutron Scattering Study of Acoustic Phonons in  
 $\text{Nb}_3\text{Sn}$
- (45) 12. P.W.Anderson, R.Abou- Chacra and D.J. Thouless  
A SELF-CONSISTENT THEORY OF LOCALIZATION
- (46) 12. Bruno J. Mueller  
THE STRUCTURE OF QUASI-FROBENIUS RINGS



- (47) 12. Yoshitake Yamazaki and Masuo Suzuki  
Statistical Mechanics of the Anisotropic Heisenberg  
Model. I
- (48) 13. Kenji k. Kobayashi, Wilber M. Franklin and David S. Moroi  
Molecular Theory of Collective Modes
- (49) 14. Tatu KAWASAKI  
Fluctuation- Dissipation Theorem for an Open System

[日大・理工]

- On Relativistic Thermodynamics.  
( V.N. Streltsov )
- Global Properties of Collapsing Matter (Black Holes).  
( M.A.Markov )
- Methods for Perturbation Calculation in Gravity.  
( M.Brown )
- One-loop Corrections to Tree Diagrams  
( S. Sarkar )
- Transition Radiation from Interstellar Dust Grains.  
( Loyal Durand )
- Hydrodynamic Equations and Green Functions.  
( V. A. Krasnikov and F. S. Jeparov )
- Application of Ergodic Relations to the Inhomogeneous System with  
"Weak Interaction "

( V.I.Prikhodko )

- Simulation of Diatomic Homonuclear Liquids.

( J.Bazojas and D. Levesque and B. Quentrec )

- Computer " Experiments " on Classical Fluids. IV.

( D.Levesque, L.Verlet, and Johanni Kurkjarvi )

- On Non Linear External Field Effects in Quasi-Superconducting Films.

( G.Parisi )

- Consideration of Higher Order Correlations in a BCS-Type Model.

( V.P.Yatsishin )

- On the Use of Generalized Phase Shifts in Solid State Theory.

( P.Ziesche and W. John )

- Spin - Phonon Interaction in the Heisenberg-Ferromagnet.

( B.S.Tosic and F.R. Vukajlovic )

- Five Wave Interaction - A Possibility for Enhancement of Optical or Microwave Radiation by Nonlinear Coupling to Explosively Unstable Plasma Waves.

( H. Wilhelmsson and A.P. Pavlenko )

- Anomalous Heating of Dense Plasma by Laser Radiation.

( V.G. Makhankov and V.N.Tsyтовich )

- New Intergrodifferential Equation and Integral Constraint for the Correlation Function Between Two Nucleons in Nuclear Matter.

( M.E.Grypeos )

- The Pair Distribution Function and the Conditions Imposed in Jastrow Method for Nuclear Matter.

( M.E.Grypeos and E. Mavrommatis )



## H.Alfvén 教授特別講演会

○ 3月15日 ( プラズマ研 )

“ Energy Problem and Humanity ”

○ 3月16日 ( プラズマ研 )

“ Future Prospect of Plasma physics ”

○ 3月19日 ( 理学部 )

“ Origin and Evolution of the Earth - Moon System ”

## 基研物性関係メイリング・リストについて

基礎物理学研究所から研究計画募集、所員公募等のインフォーションやアンケートなどをお送りするためのメイリング・リストが物性およびその周辺分野の分について不備でしたので整備中です。さしあたり物性グループ名簿から物性理論関係の研究室を選び出しましたが、基研が関係している分野からみてこれでは不十分だと思われます。物性およびその周辺分野の研究室ないし研究グループで基研からのインフォメーションの送付を希望される方は6月末までに下記までご連絡下さい。

〒606 京都市左京区北白川追分町

京都大学基礎物理学研究所

片岡 韶子

## 編 集 後 記

基研の東側に、ちょっとした木立と小さな池が見える。理学部附属の植物園である。研究施設だけに、普通の植物園と少し趣が異なるが、色々と珍しい木が植えられている。例えば、四角い竹、幹にいっぱい針を持った毬莢(さいかち)、鬼の金棒の如き木など。その他、花の木、花梨、唐楓、胡桃、南京黄櫨、豆梨、辛夷(こぶし)、榆、山査子等々の木がある。春から初夏にかけては、次々と花咲き薫り、夏は鬱蒼とした繁み、秋には紅葉と落葉が、又冬には乱立する葉を落した木々が美しく、春夏秋冬いつ歩いてもよい処である。聞くところによると、ボーアは好んで森を散歩し、弟子達と歩きながら議論したという。それにあやかるわけでもないが、この植物園は、研究会の「ムツカシイ」話に悩まされた頭をいやすのに、又考え事をする時に散策するのによい。

さて、今号から20巻に入るが、この巻の間に予告しました「10周年記念特集」を組む予定です。戻ってきましたアンケートをながめると、本誌の利用のされ方が年齢によってかなりちがう事が見受けられます。特に若手には、講義ノートが好評のようです。適当な講義がありましたら編集部までお知らせ下さい。尚、森先生の講義ノート「臨界現象」は、先生の御都合によりⅠ、Ⅱをもって一応終了という事になりました。

(T.Od)

### 物 性 研 究

第 20 卷 第 7 号  
1973年4月20日発行

発行人 松 田 博 嗣  
京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内  
印刷所 昭 和 堂 印 刷 所  
京都市上京区上長者町通室町西入  
TEL (441)1659 (431)4789  
発行所 物性研究刊行会  
京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

## 編 集 後 記

基研の東側に、ちょっとした木立と小さな池が見える。理学部附属の植物園である。研究施設だけに、普通の植物園と少し趣が異なるが、色々と珍しい木が植えられている。例えば、四角い竹、幹にいっぱい針を持った毬莢(さいかち)、鬼の金棒の如き木など。その他、花の木、花梨、唐楓、胡桃、南京黄櫨、豆梨、辛夷(こぶし)、榆、山査子等々の木がある。春から初夏にかけては、次々と花咲き薫り、夏は鬱蒼とした繁み、秋には紅葉と落葉が、又冬には乱立する葉を落した木々が美しく、春夏秋冬いつ歩いてもよい処である。聞くところによると、ボーアは好んで森を散歩し、弟子達と歩きながら議論したという。それにあやかるわけでもないが、この植物園は、研究会の「ムツカシイ」話に悩まされた頭をいやすのに、又考え事をする時に散策するのによい。

さて、今号から20巻に入るが、この巻の間に予告しました「10周年記念特集」を組む予定です。戻ってきましたアンケートをながめると、本誌の利用のされ方が年齢によってかなりちがう事が見受けられます。特に若手には、講義ノートが好評のようです。適当な講義がありましたら編集部までお知らせ下さい。尚、森先生の講義ノート「臨界現象」は、先生の御都合によりⅠ、Ⅱをもって一応終了という事になりました。

(T.Od)

### 物 性 研 究

第 20 卷 第 7 号  
1973年4月20日発行

発行人 松 田 博 嗣  
京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内  
印刷所 昭 和 堂 印 刷 所  
京都市上京区上長者町通室町西入  
TEL (441)1659 (431)4789  
発行所 物性研究刊行会  
京都市左京区北白川追分町  
京 都 大 学 湯 川 記 念 館 内

## 購読規定

### 個人購読

1. 会費：当会の会費は前納制をとっています。したがって、3月末までに払うたけ1年間分会費を御支払い下さい。  
なお新規購読の場合は下記の会費以外に入会金として、1,000円お支払い下さい。

#### 1年間の会費

1 st volume 1,200円

2 nd volume 1,200円

計 2,400円

(1年分まとめてお支払いが困難の向きは1 volume 分ずつでも結構です。)

2. 支払いの際の注意：なるべく振替用紙を御利用の上御納入下さい。  
なお通信欄に送金内容を必ず明記して下さい。
3. 雑誌購読者以外の代理人が購読料を送金される場合、必ず購読者本人の名前を明記して下さい。
4. 誌代の支払遅滞の場合：当会の原則としては、正当な理由なく2 Vols.以上の誌代を滞納された場合には、送本を停止することになっていきますので御留意下さい。
5. 一括送本を受ける場合：個人購読中に大学等で一括配布を受ける様になった場合は、必ず「個人購読中止（一括配布希望）」の通知をして下さい。逆の場合も同様です。
6. 送本先変更の場合：住所、勤務先の変更等送本先が変わった場合は、必ず送本先変更届を提出して下さい。

### 学校、研究所等機関購読

1. 会費：学校、研究所等での購読及び個人であっても公費払いのときは機関会員とみなし、代金は、1 Vol. 2,220円、1冊370円です。この場合、入会金は不要です。学校、研究所の会費の支払いは後払いでも結構です。しかし購読申込みをされる時に支払いに必要な請求見積、納品書各何通必要なのかをお知らせ下さい。  
なお、当会の請求書類では支払いができない様でしたら、貴校、貴研究機関の請求書類を送付して下さい。
2. 送本中止の場合の連絡：発行途上にある volume の購読途中中止は認められません。購読中止される場合には、1ヶ月前ぐらいいに中止時期を明記して「購読中止届」を送付して下さい。



## 物 性 研 究 20—1 (4月号) 目 次

○ 電子—イオン相互作用の行列要素について……………小野正利, 丹生久吉…………	1
○ Critical Points of Dilute Ferromagnets ……………東崎健一…………	9
○ 分子性結晶の相転移と分子回転振動……………田中 聡…………	14
○ 1972年度 物性若手夏の学校報告……………	26
○ プレプリント……………	33
○ ニュース……………	37
○ 掲示板……………	37
○ 編集後記……………	38

## 物 性 研 究 20—1 (4月号) 目 次

○ 電子—イオン相互作用の行列要素について……………小野正利, 丹生久吉…………	1
○ Critical Points of Dilute Ferromagnets ……………東崎健一…………	9
○ 分子性結晶の相転移と分子回転振動……………田中 聡…………	14
○ 1972年度 物性若手夏の学校報告……………	26
○ プレプリント……………	33
○ ニュース……………	37
○ 掲示板……………	37
○ 編集後記……………	38